

航空教育学会誌投稿規定

1. 航空教育学会誌の刊行

航空教育学会は原著論文のオンライン刊行物として「航空教育学会誌」を刊行する。航空教育分野に関連した新しい理論や方法、もしくは実際の事例についてその実施にあたっての工夫や新規性・有用性がある内容を想定し、閲覧やダウンロードは、広く開放する。電子的に掲載された記事には、関連する成果を記録したファイル（データ、ソフトウェアなど）を添付することができる。この内容は、本文の掲載の採否には無関係であるが、航空教育学会誌編集委員会にて適切性を判断するものとする。

2. 投稿規定

- (1) 著者は会員あるいは非会員であることを問いません。
- (2) 使用言語は日本語とします。
- (3) ホームページに明記する Microsoft Office Word 2007 形式の「航空教育学会_論文テンプレート」に従って記述してください。
- (4) 著者名が表記されたものと、査読用に著者名を消したものの両者をホームページに明記する Google Form によって投稿してください。

3. 査読規定

航空教育学会誌における記事の分類は以下に定める。採択の可否に関しては、編集委員会が指名するレフェリーが航空教育学会誌編集委員会細則 航空教育学会誌投稿記事査読規定に則って審査を行い、その意見に基づき編集委員長が決定します。なお、審査過程の問い合わせについては応じません。

分類	内容	制限頁数
論文	航空教育あるいはそれに関連した分野の研究の成果で、論理性、新規性、信頼性、社会的有用性が顕著であると認められる研究。	16
研究ノート	航空教育あるいはそれに関連した事例紹介的な内容で、実践報告を主とする研究。	5

投稿された論文、研究ノートは、上表の査読基準に照らし合わせ、編集委員会が指名するレフェリーの意見に基づき、編集委員長が採択の可否を決定します。なお、審査過程の問い合わせについては応じません。

4. 著作権 掲載論文著作権はすべて学会に帰属します。

5. 論文原稿の作成

- (1) 論文原稿は電子ファイルとして作成すること。
- (2) 図ははっきりとしたものを用意すること。
- (3) 英文のタイトルとアブストラクトも記載すること。
- (4) その他、節項の使い方、参考文献の書き方、文献の参照の方法などは「航空教育学会_論文テンプレート」をご参照されたい。

6. 掲載料

無料とする。

7. 規定の改廃

この規定の改廃は航空教育学会誌編集委員会の議を経て、理事会が行う。

本規定は 2023 年 8 月 1 日より効力を有する。